

細則様式第 4 号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏 名	葉 清規		
入学年度	平成 27 年度	学籍番号	15GG605
領 域	健康支援科学	分 野	老年保健学
審 査 委 員	主 査	石川 玲	
	副 査	伊藤 巧一	
	副 査	若山 佐一	
	副 査	對馬 栄輝	

論文題目：

頸椎変性疾患に対する McKenzie 法に基づく治療

：改善不良に関連する因子と頸椎深層筋エクササイズを併用した効果

審査結果要旨：

本研究は、頸椎変性疾患患者に対するマッケンジー法のエクササイズ(MDT)の有効性を実証することを目的に、McKenzie 法 (MDT) の効果を症状と所見、日常生活機能、健康関連 QOL (HRQOL) 等の面から多面的・継続的に検討している。また、改善不良と関係する因子、頸部深層筋エクササイズとの併用効果を検討し、物理療法の効果とも比較している。

頸椎変性疾患患者に MDT を実施して頸部の疼痛、関節可動域、日常生活障害、HRQOL が改善したことを確認した上で、治療効果の判定指標として頸部痛の程度と頸部の伸展可動域が有用であること、さらに従来の頸部深層筋エクササイズと併用した場合と比べて長期成績に差はないものの、MDT 単独実施の方がより早期から治療効果が現れること、さらに MDT 単独または併用のエクササイズは物理療法単独よりも多面的効果が得られることが、本研究による新たな知見である。

申請者は研究の意義、結果について十分に理解しており、学位審査論文及び学位審査会においてそれらをわかりやすく記述及び口述できていた。本研究テーマと関連する複数の論文が和文および英文雑誌に掲載またはアクセプトされている。学位審査論文の内容および審査会での発表を通して、申請者が独立した研究者として研究を遂行できる高い能力と倫理観を十分に身につけていると判断できた。

以上より、本論文は博士の学位に値すると判断し、合格と判定する。

最終試験 平成 30 年 1 月 26 日

試験の結果は 合 格 ・ 不 合 格 と判定する。